

カーボンニュートラルに向けた取組について

2 栃木県の現状（CO2排出状況等）

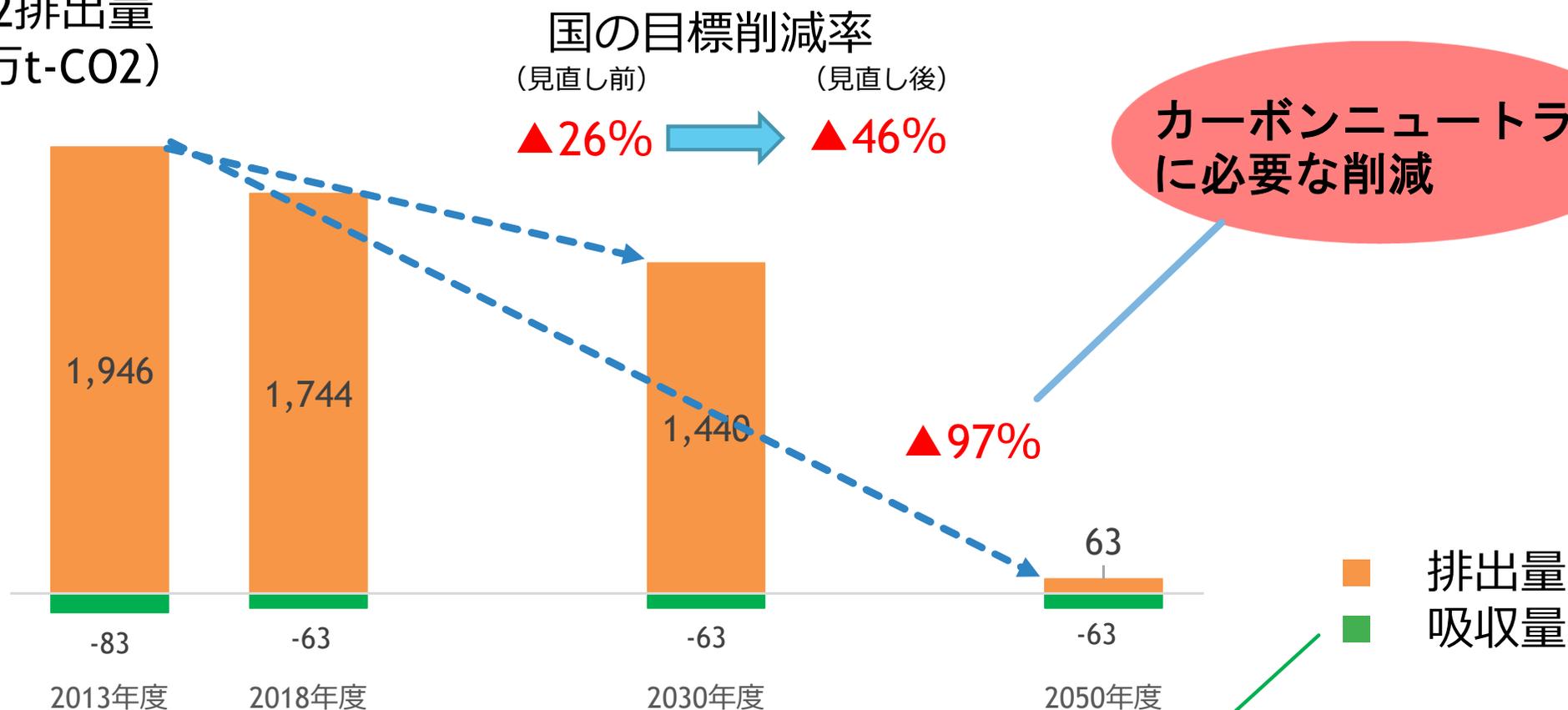
(1) 県内の気候変動影響

栃木県 (宇都宮)	これまで	21世紀末 (対策を講じない場合)	参考
年平均気温	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約2.33℃上昇 (100年あたり) ・ 2020年 15.0℃ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約4～4.5℃上昇 ・ 21世紀末 19～19.5℃ 	<p>2020年の年平均気温</p> <p>宮崎県 (宮崎) 18.3℃ 鹿児島県 (鹿児島) 19.2℃ 沖縄県 (那覇) 23.8℃</p>
真夏日の 年間日数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 約27.6日増加 (80年あたり) ・ 2020年 50日 	<p>(特に県南・県中部で)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 約50～65日増加 ・ 21世紀末 約100～115日 	<p>2020年の真夏日日数</p> <p>宮崎県 (宮崎) 66日 鹿児島県 (鹿児島) 64日 沖縄県 (那覇) 108日</p>

※ 国の第一次気候変動影響評価の結果を参考に、本県における影響を抜粋したものの

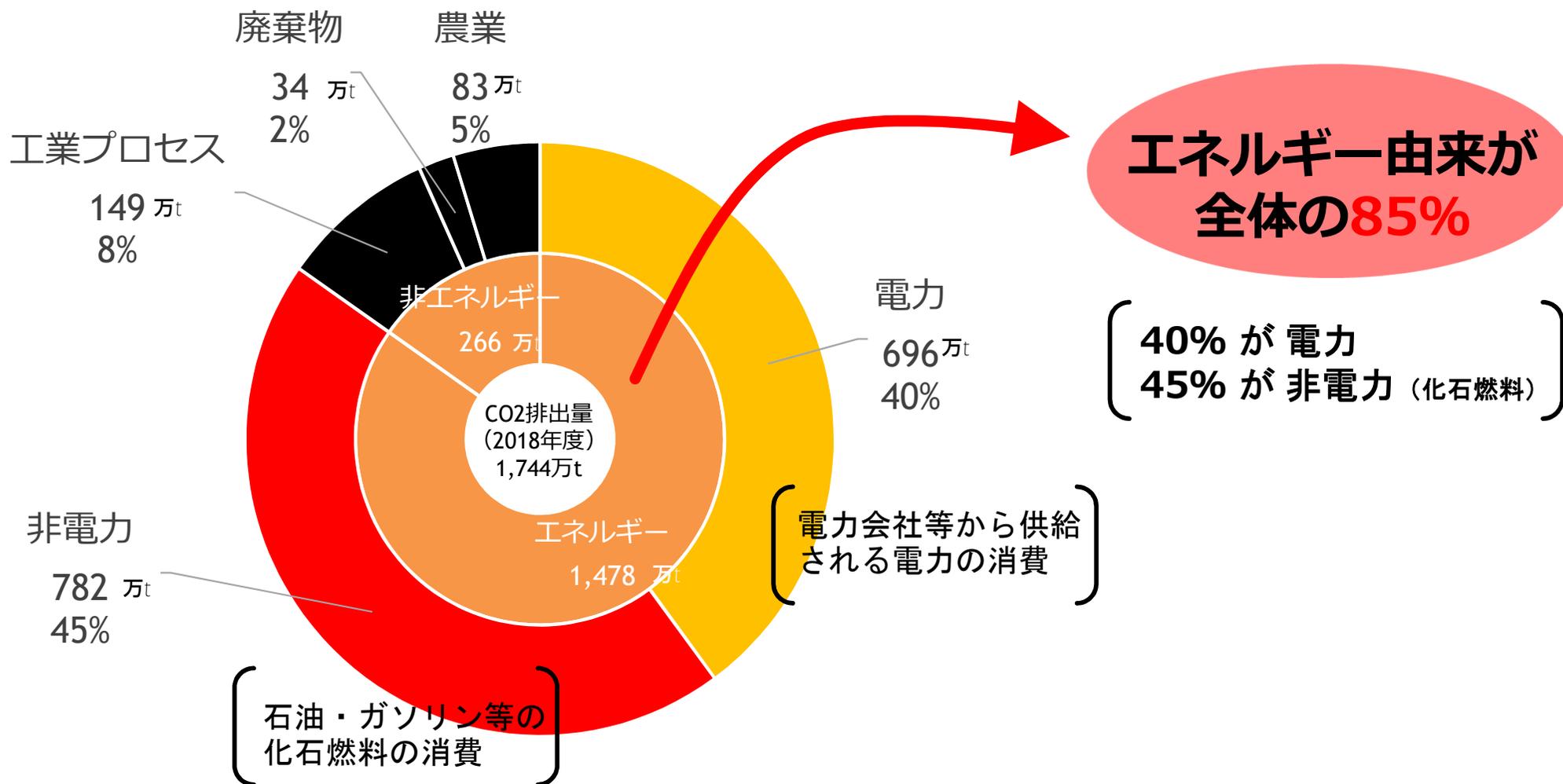
(2) 2050年カーボンニュートラル実現のイメージ

CO2排出量
(万t-CO2)

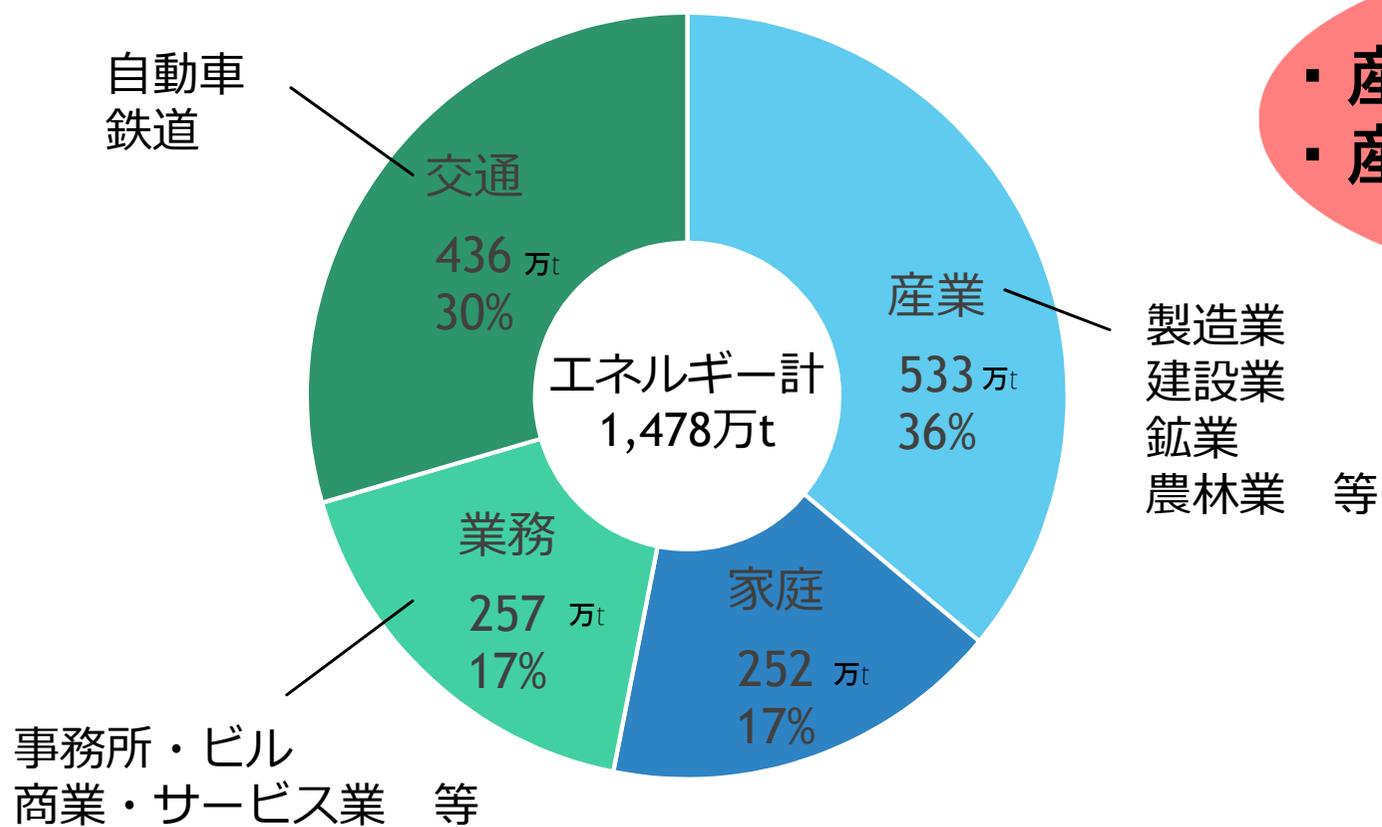


- ・ 森林面積が大幅に増えない限り増加は見込めない。
- ・ 皆伐再造林による森林の若返り、適正な間伐の実施などにより 63万トンを維持

(3) CO2排出状況 (エネルギー・非エネルギーの別)



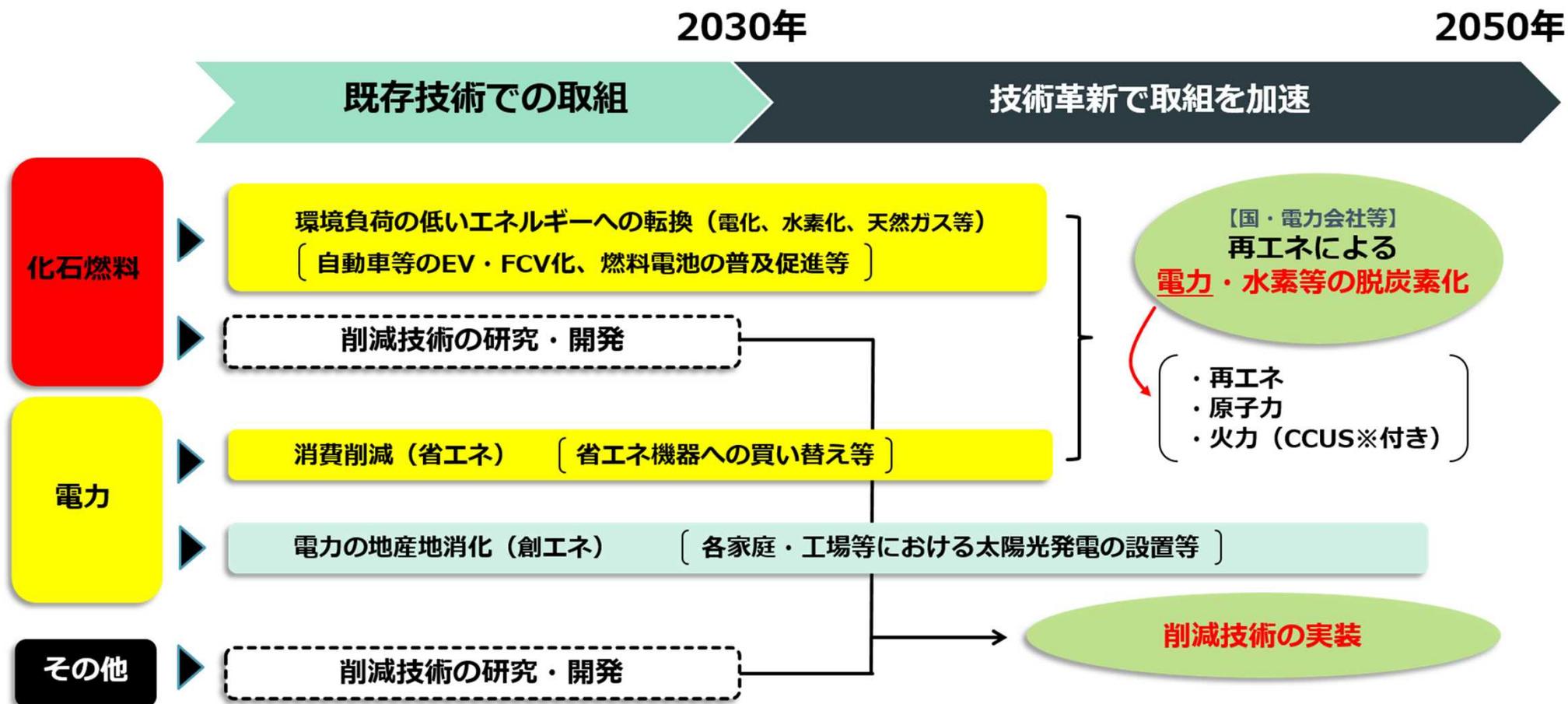
(3) CO2排出状況 (分野別)



- ・ 産業と交通で66%
- ・ 産業の9割が製造業

※ エネルギー由来のCO2の内訳

(4) CO2の削減イメージ



※ CO2を回収・再利用・地下貯留等する技術